泊瀬朝倉宮跡（桜井市）

はつせ　泊瀬朝倉宮跡の候補地は幾つかあるようだが、泊瀬谷の入り口にあたる脇本遺跡は5世紀代のものについては雄略天皇の泊瀬朝倉宮跡と推定されており、春日神社の辺りはその中心地らしい／正面は脇本遺跡のエリアで、背後の麓に春日神社が所在する

ここが春日神社

前方が社殿

春日神社本殿
（県指定文化財）
桜井市教育委員会
歴史街道

春日神社本殿

（県指定文化財）

三間社春日造で、身舎の側面は二間からなり、前面吹放とし、後面梁行に三口の板扉を設けて身舎としている。身舎の正面と両側面には縁を付け、背面両端柱に脇障子を取付け、縁高欄を巡らしている。向拝には浜縁を設け、正面中央一間に、五級の木階と登り高欄を取付けている。屋根は檜皮葺である。

本殿は組物・虹梁など、細部の手法がすぐれた三間社春日造であり、棟木銘から慶長八年（一六〇三）の建立であることが明らかで、貴重な建造物である。

桜井市教育委員会

歴史街道 REKISHI KAIDO

近くに他の候補地もあるが、初瀬谷全体が宮処であった可 能性もあると云う/飛鳥に宮が移るまで三輪山の西南麓から香具山辺り一帯は、大王（天皇）や皇后の宮が十三もあったと伝えられ、大和王権の中心地域であったらしい

拝殿

背後が本殿

本殿は桧皮葺三間社春日造で、組物・虹梁など細部の手法がすぐれ、棟木銘から慶長8年（1603年）の建立と云う

奥へ進む

これは末社の稲荷社

そこで振り返って見たところ

こんな境内であった

参考ホームページ

https://sakurai-kankou.jimdo.com/%E5%90%8D%E6%89%80/%E5%88%9D%E7%80%AC%E9%81%93%E5%91%A8%E8%BE%BA/%E6%B3%8A%E7%80%AC%E6%9C%9D%E5%80%89%E5%AE%AE%E4%BC%9D%E6%89%BF%E5%9C%B0/

https://ryobo.fromnara.com/palace/p021-1.html

http://inoues.net/club4/0173hasedera_1.html

https://ameblo.jp/benben840105/entry-12365762768.html

山岡自動
黒崎
165
桜井市
近鉄大阪線
脇本
巽製粉(株)
朝倉郵便局
慈恩寺
199
大和川
朝倉台東
大和朝倉
地図データ ©2019 ZENRIN